



# こんにちは日本共産党です ハ千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754  
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページ▶



市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>  
共産党控室メール [kyousan@city.yachiyo.chiba.jp](mailto:kyousan@city.yachiyo.chiba.jp)

第432号  
2019年11月25日  
発行  
日本共産党  
八千代市議会議員団  
八千代市大和田新田  
312-5

## 阿蘇小学校児童数は減少どころか増に

市教育委員会は6年前、阿蘇小学校が100人程度の小規模校ということから、米本小・米本南小と統合すると方針を立てました。しかし、教育委員会の予想に反して阿蘇小は児童数が増え、小規模とは言えなくなり、統廃合の根拠はなくなりました。

〈阿蘇小・児童数の予想〉上段は方針変更時（昨年）のもの。下段は説明会（7月）のもの

	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生
平成30年12月	26	34	42	36	36	33	23	26	24	30
平成31年 4月	35	40	46	43	42	38	23	27	25	29

## 特別な阿蘇小の図書室をなくしていいのか

阿蘇小学校は、ずっと全学年一クラスでしたが、今年から1年生が2クラスになりました。今年は何とか教室を確保できましたが、来年から教室が足りなくなります。教育委員会は、「図書室は情報教育をするところだからICT教室と一緒にいい」という考えのもとに、図書室を普通教室に改修することに決めました。

阿蘇小の教育は、読書指導に力を注ぎ、読み聞かせや、読書感想を書き、話す力をつけて子どもたちを伸ばすものです。とりわけ「周郷文庫」（周郷博氏は阿蘇小校歌の作詞者、教育学者で阿蘇小の出身）と名づけたコーナーは阿蘇小の宝です。

児童数の増は一年前から分かっていたこと。それなのに手を打たず、安易に図書室をなくし子どもたちに犠牲を押しつけていいのでしょうか。また、その対応策を保護者に説明をしていないことは問題です。市教育委員会は、阿蘇小学校の存続を前提に児童数の増に対応するために、増築などの決断をすべきです。



## 子どものために増改築は喫緊の課題

阿蘇地域の人たちは、3校の小学校を統合して阿蘇小学校を無くすことに、当初から反対してきました。ところが教育委員会は、阿蘇・米本地域の小学校3校の統合を答申、その後は小中一貫校として阿蘇中学校に統合するという計画（本年2月 施設分離型に変更）で進められ、結局は阿蘇小学校をなくすというものです。子どもたちのために「よりよい教育環境」といいながら、子どもたちの学びの教育環境を奪っているのです。これほど地域をないがしろにする姿勢は許されません。

直ちに児童増に合わせて教室を増設し、美味しい自校方式の給食が食べられるように全力を尽くすことが真の子どもたちのための教育行政ではないでしょうか。

日本共産党は、増築やそれに対応する自校給食の拡充など地域のみなさんの願いに寄り添い、阿蘇小学校の存続に全力で頑張ります。